

## 社会科教育

### 地理的・歴史的内容の学習形態

安部 巖

#### 前書き

現在、小学校における社会科教育で一番困難を感じ、行詰りを生じているものは何だろうか。道徳的な教育は勿論の事ながら、「地理的な、歴史的な教育は如何にあるべきか」と言う問題が考えられるのではあるまいか。

更に考えさせられる事は、地理的な歴史的な領域が全体的に見て一番後れている事は、<sup>①</sup>地歴的な内容の扱いの適期と、その系列の不整に原因するものである、とすると結論に達したので、今回この問題をとりあげる事にした。

このように考えて来る時、更に生まれて来る問題は、

1. 社会科教育のねらいは何か、
2. 社会とは何か、
3. 社会科教育の学習形態は如何にあるべきか、

の三つの問題が考えられて来るが、(1)と(2)については今は省略し、ここでは社会科教育の学習形態の中、特に地理的・歴史の自学習形態について述べて見たい。

#### 一、地歴的分野の学習形態

地理的・歴史的分野の学習形態に就いて、学説は区々であり、又形態の視点の置き方等からも種々の形態が考えられており、論理的にはもはや盡された感がしないでもない。<sup>②</sup>

私は今かかる面からの学習形態はさておき、学習活動から見た学習形態について述べて見たい。ここで言う「学習活動から見た」と言う言葉は、その他の立場が考えられるからである。<sup>③</sup>

(学習活動について、吾々は何れの活動の場合も、社会科における基礎学力は何であるかと言う事を、常に念願において実践活動を進めて行くべきであろう)<sup>④</sup>

#### (1) 調査活動

調査活動を実施する場合は特に教師側の準備が必要である。現場調査においても、資料調査においても、綿密な準備が行われていなかつたら、それは単なるお祭りさわぎを演じただけにすぎない結果となるであろう。

- ・ 現場調査……観察・観測・調査
- ・ 資料調査……地図・グラフ・説明図・紙芝居・年表・教科書・遺物・遺址・古文書・文化財・伝承其他参考資料

◎注意……現場調査・資料調査においても、立地条件・

時代構造・時代連関・發展法則・政治經濟機構・機能  
 ・地名・産物・交通・人名・時代・事件等は念頭にお  
 くべきである。

(2) 見学活動

統計クラブ・記録・聴取等で、生活の有様、歴史發展の過  
 程等擲み得ない場合は見学活動を行う。この場合におい  
 て、調査活動における注意は是非共忘れてはならない。

(3) 読図作図活動

この活動は、社会科学における地歴的な分野の学習において  
 は、是非共なされなければならない活動形式であり、有効  
 な方法である。……長坂端午氏は、この方法は「学習の手  
 掛りが得られる。断片的な知識判断を総合理解出来る、問  
 題解決学習を深化させる」と述べている。<sup>⑥</sup>

(4) 模型製作活動

作業を通じての学習であるため、有効な方法である。

(5) 年表使用活動(地理年表・歴史年表)

書籍参考資料利用活動

(7) 統計図・説明図等による学習活動

× × ×

以上七つの学習活動について記したが、この外学習活動の  
 面から考えられる学習形態については、聴取学習・問答学習

・討議学習・報告学習・実験学習・構成学習・創作学習・劇

地理的・歴史的内容的学習形態

化学習・実習学習等考えられるが、いずれも前記の学習活動  
 に附随して当然行われなければならないものである。こ  
 こでは省略する。

註(1) 一九五六・二・二四青山小学校篇「基礎学力と学習指導」2

(2) ●平松秋夫「教育大学講座」一一「学習指導」

●一九五五・一一・一広岡亮蔵「学習形態」

●昭和二二・二・一五藤坂二夫「デュイイの教育学」

●長坂端午・石崎庸「地理歴史内容の扱い方」

(3) 平松秋夫「教育大学講座」

(4) 一九五五・一一・一広岡亮蔵「学習形態」二五二頁

(5) 昭和二九・五・二〇長坂・石崎「地理歴史内容の扱い方」

一一、実践例 1 (高崎山の研究)

地歴的分野の学習において、調査活動による学習が重要な  
 位置を占めている事は、すでにのべたが、ここでは私の試み  
 た或一つの実践例、高崎山の研究について記して見よう。

× × ×

1. 調査問題 高崎山の研究

調査人員及び調査の性格

3. 調査の目的

・調査の方法がわかる。(基礎学力)

・身近な自然環境に対して、地理的・歴史的な理解をふ

4. 調査の時間  
かめる。

- ・遠足の機会を利用する。
- ・まともは帰校後する。

5. 準備

- ・調査についての話し合い。
- ・調査用具……方位盤・磁石・グラフ用紙・鉛筆・ナイフ・米尺・紐二〇米・巻尺・定規・金鋏・分度器・鋸・水準器
- ・用具の使用法の指導
- ・仕事内容の分担（調査内容）

7. 研究内容

- ・学校から高崎山までの道は、どんなに人間生活と結びついているか。
- ・高崎山の歴史

城址……実測図……頂上でわかつた事……赤松部落  
 ……天正九年地藏塔……道しるべ……柘本……銭が  
 ……め石……一里塚……火成岩と松

8. 結果

・附近の地質がわかる……火成岩と水成岩  
 ・児童研究の結果は、三〇頁のパンフレットにまとめられた。  
 （一九五五年 青山小学校図書館刊  
 高崎の研究報告参照）

9. 考察……調査の結果は、何らかの形でまとめられなければならぬ。若し調査結果の整理を行わないならば問題発見もないだろうし、結果を新たな問題発見の基とする事もできないだろう。

三、実践例 2 (読図作図活動)

前に記した実践例は、調査活動に関するものであつたが、ここでは、読図作図活動の実践例について記してみよう。この学習活動は一九五六年二月二十四日行われた。

1. 単元 土地と生活

2. 地標 日本地理の基本的な構成を通して、日本の各地方の特色がわかる。

- ・地方々は孤立したものではなく、互いに助け合っていることがわかる。
- ・土地の様子や人々の生活のしかたの差異がわかる。

3. 指導計画 二〇時間

才一次 学習計画をたてる——二時間

才二次 大陸に一番近い九州地方——三時間

- ① 九州の位置と大陸(1)——(本時)
- ② 九州の産業 (1)

③ 南九州の特色 (1)

- 才三次 瀬戸内海と中国・四国——三時間
- 才四次 古くから開けた近畿地方——三時間
- 才五次 関東地方——三時間
- 才六次 奥羽・北海道地方——三時間
- 才七次 まとめ——三時間

本時案(才二次 才一時)

1. 題材 九州の位置  
 目標・縮尺がわかる。(基礎学力)

・九州の位置の概観ができる。(基礎学力)

・古くから大陸と関係をもつた事がわかる。

4. 3. 準備 アジア大地図・白地図・参考図・コンパス  
 展開

学習活動	指導上の留意点	評価
○話し合い。 ○白地図を書く。	○本時の学習事項について話し合う。 ○白地図に阿そ山を中心とする四〇〇Kと八〇〇Kの円を書かせる。	○縮尺はわかっているか。
	○白地図に示されている縮尺を使う。	

地理的・歴史的内容の学習形態

○できた地図からわかった事を話し合う。	○書けない子供に視して指導する	○要領よく発表できるか。
○大陸との結びつきをしらべる。	△大陸とのきより	○古くから大陸と関係をもつていたことは理解できたか
○大陸との結びつきをしらべる。	△九州の位置	
○整理をする。	○話し合いの結果から結びつきの問題をしらべる	
○次時の学習に就いて話し合う。	○例話を入れる。	
	○ノートにまとめる。	

四、結び

以上三項目に亘って、学習形態・実践例につき記したが、首尾一貫せず読みづらい事と察します。単なる一教師の実践記録として読んで戴き、今後の御助言及び御指導をお願いします。

(一九五六年八月一日・別府市青山小学校教諭)